

「れんこんサラダとれんこんチップス」を調理する学生と土浦地域女性農業士会の市村会長（茨城県土浦市で）



レンコン調理交流

茨城県南農林事務所

【いばらき】茨城県の県南農林事務所は17日、土浦市のつくば国際大学で「食農ふれあい交流会」を開いた。

地元の女性農業士と同大学保健栄養学科の学生が参加。特産のレンコンを使った調理実習や味比べを楽しんだ。学生33人と土浦地域女性農業士会のメンバー6人が参加した。

レンコンを使った「ハンバーグ」「れんこんサラダとれんこんチップス」「きんぴら」「れんこん汁」「はさみ揚げ」などを調理し全員で試食した。

同女性農業士会の市村明代会長は「レンコンを炒める際、鍋にふたをすることももちもち感が出る。ふたを開けると硬さが残り、サクサク感が楽しめる」と調理のこつを伝授した。

調理実習で指導した柴崎みゆき准教授は「体験を基に地場農産物のレンコンを利用した新たなメニューを作り、調理してほしい」と提案した。